



質問順 4 番

AM 10:35 受付  
令和 4 年 5 月 30 日

若桜町議会議長 山根 政彦 様

若桜町議会議員 ( 2 番)

森田 二郎



一般質問の通告について

次の事項について、会議規則第 6 1 条第 2 項の規定により質問の通告をいたします。

記

質問事項	質問要旨 (具体的に)	質問の相手
1 観光施策の推進について	(1) 若桜町には自然・文化等に多彩な観光資源がありますが、残念ながら、観光施策に効果的に取り込まれていないと感じています。例えば、グリーンシーズンでのスキー場を活用したキャンプを実施してはどうでしょうか。それに用具の貸し出しや星空観察を加えれば、宿泊や飲食を伴う機会も増え、町内からのデリバリーや食材購入が生まれて町内に利益をもたらすこととなります。町長の所見を伺います。	町長
	(2) 清流を活用した川遊びや釣り、その他のウォータースポーツ等々、世代や嗜好にそってターゲットを絞った集客は、今後期待できるものであらうと思います。例えば、赤松・諸鹿、三倉、屋堂羅、糸白見の川に沿いながらのウォーキングやトレッキングに釣り等を加えたツアーをすれば、若い世代の家族に向けてもアピールできるはずですが、これらの自然体験をサポートできる人材は不足しています。これから若桜の清流を活用した観光施策に必要なのは、自然体験をサポートできるガイドの人材育成だと考えます。町長の所見を伺います。	町長

質 問 事 項	質 問 要 旨 （具体的に）	質問の相手
1 観光施策の推進 について	<p>（3）これまで、確かに担当課ごとに事業やイベントは行われていますが、それらの取り組みは一過性のもので年間を通しての観光施策としては不十分と考えます。若桜町の観光資源を活かして観光地として生き残るために観光施策の将来像をどのように描いておられるのか、町長の所見を伺います。</p>	町長
2 観光施策における連携・リーダーシップについて	<p>（1）本町には若桜町観光開発事業団、観光協会、ふるさと創生課、にぎわい創出課など、観光施策に関わる組織や部署があります。それぞれの部署で施策の方向が違えば連携が難しくなります。町と関係団体、町の部局間でしっかりと連携できているのか、町長に伺います。</p>	町長
	<p>（2）若桜の観光施策でめざす将来像や方向性は町がしっかりと示してから推進すべきと考えますが、町は施策の推進にあたり、リーダーシップをとれているのか、町長の所見を伺います。</p>	町長